

厚真町（厚真集落協定）における平成23年度の活動内容

○ 対象地区

12地区（幌内、富里、高丘、東和、桜丘、本郷、幌里、宇隆、新町、豊丘、軽舞、鹿沼）
+公共牧場（宇隆、幌里）

○ 協定参加者

77名（農業者73名、農業生産法人3、その他1）

○ 協定農用地面積および交付金額

	協定面積（㎡）	交付金額（円）
田（緩傾斜）	1,824,415	14,595,320
田（急傾斜）	47,322	993,762
畑（緩傾斜）	13,521	47,323
草地（緩傾斜）	417,055	1,251,165
計	2,302,313	16,887,570

○ 集落協定における交付金の使用実績

交付金総額（円）	共同取組活動分		個人配分	
	金額（円）	割合	金額（円）	割合
16,887,570	8,830,667	52.3%	8,056,903	47.7%

※ 平成23年度より、農地への交付金の2分の1以上は農業者個人に支払うことを原則とすることとなっています。ただし、公共牧場には個人配分がないため、合計での割合が50%を下回っています。

○ 共同取組活動の内容と交付内訳

ア. 農業生産活動等（基礎単価の活動：必須）

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
農用地に関する事項	農地法面の点検	91
	鳥獣害防止対策	1,508
	公共牧場の維持管理活動	439
水路・農道等の管理方法	柳切り・草刈り	2,582
多面的機能を増進する活動	公民館の整備・補修・花壇整備等の環境美化 ^(注2)	743

イ. 集落マスタープランの記載（基礎単価の活動：必須）

活動事項	重点項目	23年度取組状況
協定農用地の拡大	協定農用地の拡大 223ha⇒230ha	協定農用地面積 230ha
機械・農作業の共同化等営農組織の育成	共同機械を利用した基幹的農作業（病害虫防除）の実施 目標 80ha	約58haの共同利用が実施された
新規就農者の確保	新規就農者1名の確保	1名が新たに就農した
認定農業者の育成	認定農業者1名の育成	新規認定者1名
共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備	協定対象農用地から耕作放棄地を発生させない	耕作放棄地0ha

ウ. 農用地保全マップの活動（体制整備単価の活動：選択的必須）

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
機械・農作業の共同化	共同機械による基幹的な農作業（病害虫防除）	2,088
	共同機械導入	1,836
新規就農者の確保	農作業研修の実施	51

エ. その他

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
事務費	交付金支払事務等	835
24年度へ繰越	積立等	119

（注）ここでいう公民館とは、マナビイハウス等を指します。また、公民館整備・花壇整備は公民館本体ではなく、付随する倉庫や花壇の補修などのことです。

○ 23年度までの実施状況についての評価

集落協定に記載した幅広い項目にわたる多様な取り組みが適切に実施されている。
重点項目目標も順次達成しており、今後も適切な活動を維持していく。

○ 24年度以降の課題、取組の方針

24年度以降も、現在の活動を維持しつつ、地区ごとに必要な活動を適宜行い、地域の耕作放棄地の防止に努めていく。共同作業面積の拡大についても、機械導入を行ったので、面積の拡大を推進する。前年同様、活動内容については一般住民への広報等に努めていくなどして、より交付金活動への理解が得られるように工夫していく。

※ 23年度の活動状況の評価については、平成24年6月13日に開催された中山間地域等直接支払制度基準検討会・厚真町中山間地域等直接支払推進協議会総会で確認されたものです。